

地域の魅力等発信基盤整備事業【復興】

平成30年度予算額 2.3億円（新規）

事業の内容

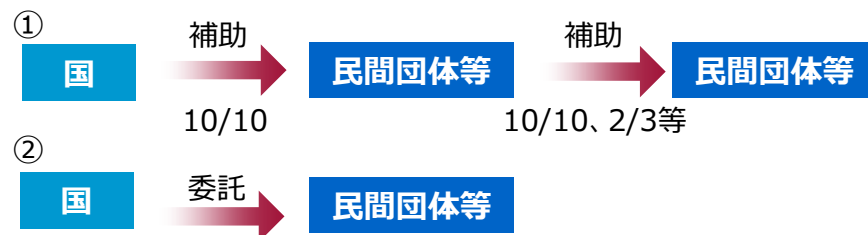
事業目的・概要

- 東日本大震災以降、国、福島県及び各市町村の取組により、福島の復興・再生は一步一步着実に進展している。他方、震災直後に比べ福島に関する報道等を通じた情報量の減少に伴い、国民が復興の進捗を知る機会は限られ、「情報の固定化」「風化」が進んでいる。
- 正確な情報の不足を解消し、特に被災12市町村を中心とした福島県の風評被害の払拭や交流人口の増加に向け、地域の魅力を発掘、創出、発信することが急務。
- また、海外含め県外では、福島県全域を一括りに捉えている人々が多数存在する実情を踏まえ、避難指示区域を中心とした福島の魅力を効果的に国内外に発信していく基盤の整備を実施することが重要。

成果目標

- 年間20件程度の事業を補助することを目指す。
（平成30年度から平成32年度）

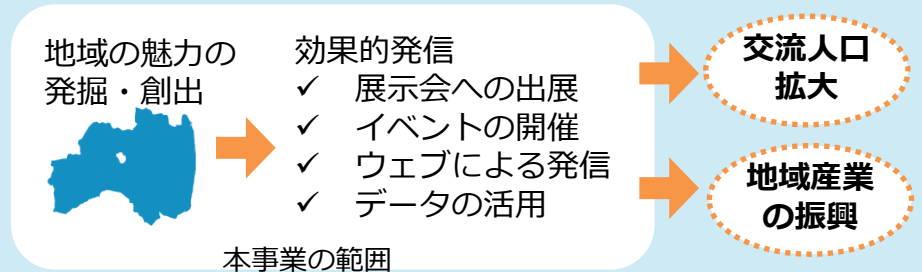
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

①地域の伝統・魅力等発信支援事業

福島県（特に被災12市町村）の伝統・魅力等の発信（伝統工芸品、新たな特産品等）及び交流人口増加による事業基盤の安定を目的とした取組（イベント、展示会等）を実施する民間団体等（12市町村外の団体を含む）を支援。



例1：川俣町の、高度な技術を要する先染織物を得意とするメーカーの、国内外での展示会の出展や製品のデザインを支援。

例2：福島県内の市町村と連携し、若手クリエイターと連動した町の魅力を発信する事業を支援。

②地域の魅力等発信に向けた基盤整備事業

避難指示区域を中心とした地域の魅力等の発信について、有効な発信手段の選定、発信手段と親和性のあるコンテンツの制作、発信後の効果測定等を実施。

